

令和2年度

湖南省公共施設等マネジメント推進委員会  
議事要旨

第1回会議

(令和2年8月19日開催)

湖南省財政課行財政改革・ICT 推進室

出席者

委員長	新川 達郎
委員	戸簾 和俊
	山本 佐喜男
	古市 泰丸
	西山 由記
	福島 由美子

事務局

市長	谷畑 英吾
総務部長	井上 俊也
総務部次長	森村 政生
財政課行財政改革・ICT 推進室長	青木 浩司
財政課行財政改革・ICT 推進室長補佐	森岡 和也
財政課行財政改革・ICT 推進室長補佐	伊原 優実
財政課行財政改革・ICT 推進室主任主事	谷口 達哉

開会 午前9時30分

事務局

定刻になりましたので、ただいまから「第1回湖南省公共施設等マネジメント推進委員会」を開催いたします。

それでは、開会に先立ちまして市長から一言ご挨拶を申し上げます。

市長

おはようございます。今年の話題というのはもう新型コロナウイルス感染症に尽きるわけでありまして、依然収束の見通しが立っていないわけでございます。特に、本市におきましても、7月の末から感染者が出てきておりまして、この中における医療体制の構築ということが喫緊の課題となっているわけでございます。

また、これ以上の感染拡大がないように、いわゆる手洗いの励行や距離を保つというようなことをしながら、この感染拡大を、防いでいくということが非常に大事なところとなっております。緊急事態宣言も解除されまして、少しずつ、新しい生活様式の中で対応していくということになって参りましたので、今回はこういった形で委員会の招集をさせていただいたところでございます。しっかりと市政が停滞することのないように取り組んで参りたいと考えております。

これまでこの公共施設マネジメント推進委員会におきましては、市の老朽化する施設等について、どのように今後対応していくのかという全体計画を受けまして、個別計画をどのように進めていこうかということの検討に入ってくるわけでございますが、その中におきまして、財政上非常に厳しくなってくる予想が立つということから、この東庁舎及びその近隣の庁舎の複合施設化につきましては、少し庁舎の着手の決定時期を先送りさせていただき、財政状況を見させていただこうというふうに考えております。

そういった足踏みをしておりますけれども、その他の施設についても、十分に検討していく必要があろうと思っております。とりわけその中において大きな焦点となるのは、西庁舎の扱いということになってこようかと思っております。この東庁舎を中心とした複合庁舎の集約化ということにおきましては、西庁舎にありますメインの機能であります教育委員会機能等につきましても東庁舎に集約をされるということになりますので、西庁舎の今後の方向性を、また議論もしていく必要があろうかと思っております。例えば西庁舎4階建てでありますけれども、耐震化が不十分でありますので、これを今この石部周辺に、この主要な木造の建物もないということでもありますので、例えばでありますけれども、木造で本陣を復元してしまうというような中にまちづくりセンターを置くというような考え方もあるのではないのかなと思っております。そ

ういふ様々な市民の意見を集約しながら、それぞれの地域における、施設の集約化複合化ということを進められれば、ありがたいかなと思っているところでもございます。

やはりそれぞれの施設、地域において長年使っていただいておりますので、愛着もあろうかと思っておりますし、その一方で、人口減少社会の中において、財政面で非常に厳しい中にあるということもありますので、全体を見ながら調整をしていく必要もあろうかと思っております。現在の人が使うというだけではなくて、将来の人との間での負担の負担が均衡させるということもございまして、そういった点も含めての全体計画の議論をしていただければありがたいと思っておりますのでどうかよろしくお願いを申し上げます。

事務局

続きまして、委員長からごあいさつを頂戴いたしたいと思っております。よろしくお願いをいたします。

委員長

おはようございます。これから先々を考えていった時に、本当にどういふ施設を、どんなふうにするか、これから先、適切に市民サービスの質を向上させながら、同時に、人口減少やあるいは財政制約といったような社会問題に対処しつつ、維持管理をしていくのか、非常に重要な時期に来ているのではないかとこのように思っております。

これからどんなふうにするか、それぞれの施設を将来にわたって、適切に機能をさせていくのか、維持管理をしていくのか、場合によっては建て替えや或いは大規模な改修や長寿命化やそして統廃合ということも考えていかないとはいえないところがございます。

単に今年来年どうするかということだけではなくて、先ほど総合計画の話もございましたけれども、5年10年、場合によっては建物施設ですと40年50年というそういう期間を見通しながら議論しなければなりません。

大変難しい議論を皆様方にはさせていただかなければならないかと思っておりますけれども、これからの湖南省、将来の市民のために、ぜひ、知恵を絞っていただければ、そんなふうには思っております。

事務局

それでは、本年度第1回の委員会となりますので、各委員様から一言ずつご挨拶をお願いいたします。

各委員

(各委員挨拶)

事務局

次に事務局から自己紹介させていただきます。

(各事務局職員自己紹介)

事務局

それでは、本日の委員会につきまして、委員6名に対し全員の出席であり、半数以上の出席でありますことから、「湖南省公共施設等マネジメント推進委員会規則第3条第2項」の規程に基づきまして、会議が成立していることを報告いたします。

なお、本日の会議は新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴者はなしということにさせていただいております。

それでは、ここから委員会の進行を委員長にお願いしたいと思います。

委員長

それではただいまから、第1回湖南省公共施設等マネジメント推進委員会進行を務めさせていただきます。

### 議題

#### 1) 湖南省公共施設等総合管理計画の進捗状況について

委員長

本日議題二つ、お手元次第の通りいただいておりますので、議題の第1号、湖南省公共施設等総合管理計画の進捗状況について、事務局からご説明をいただければと思います。

事務局

(議題について概要説明)

委員長

それでは、ただいまご説明をいただきました、本市公共施設等総合管理計画の進捗状況につきまして、ご説明をいただきましたけれども、各委員からご質問或いはご意見いただければと思います。

よろしく願いいたします。

委員

石部保育園はこれ対象ではないんですか。

事務局

石部保育園は民営化しておりませんので、公立園として引き続き運営をさせていただいております。

市長

補足いたしますと、現在市内の保育施設につきましては、各中学校区に1施設ずつ、公立で残しておりまして、そこに子育て支援機能も集約をさせていただいて、地域に身近なところで、子育て支援をさせていただくような形にさせていただいております。

委員	公共施設の廃止なんですけども、民営化については保育園の民営化も非常に前向きな取り組みかなと思ってるんですけども、例えば平成29年度の青少年の自然道場から、令和元年度の雨山市民プールは廃止になるんですけども、廃止後の施設っていうのはどういう方向で対応されるのでしょうか。
事務局	廃止後の施設につきましては、まず市の中で利活用を検討します。 そういった中で、使える施設につきましては地域にお声掛けまして、使っていただけるかどうかとかいう話も協議もさせていただいております。また、もう老朽化が激しくて、安全上問題のあるような施設につきましては、除却の方向で調整を図っているところでございます。
委員長	少し具体的に青少年自然道場それから雨山市民プールのお話も出ましたので、その後の経緯どうなっているのかご報告があればお願いいたします。
事務局	青少年自然道場につきましては除却の方向で地元と調整中でございます。あと、中央まちづくりセンターにつきましては東庁舎の整備にあわせまして、昨年度に解体させていただいております。勤労青少年ホームにつきましては、地域や民間と協議を進めているところでございます。あと、伝統工芸会館、阿星の野外ステージにつきましても、今後のあり方につきまして地域とも相談させていただいてる状況でもございます。雨山市民プールにつきましては、老朽化が激しいということもございますので、除却の方向で手続きを進めさせていただいているような状況でございます。
委員	地域の有効活用とかいうふうになった場合、市として管理費用はもうかからないということですか。
事務局	地域の方に移譲させていただきましたら市から管理が離れていき、地域にお譲りさせていただくというような形になっています。そうですので、地域の方で維持管理等もさせていただくことになっていきます。
委員	保育園民営化で働いている教員の処遇に問題はありませんか。
事務局	一括して民営化を進めた経緯の中で、皆さんそういったご心配の方をされ

ておりましたけども、今のところは問題なく進んでるというように、私どもの方は聞いております。

委員 菩提寺こども園の1,638㎡中1,025㎡のみ民営化っていうのは、どういうことでしょうか。

事務局 菩提寺こども園につきましては施設が二つございまして、道路を挟みまして、北側と南側に園舎があるというような状況でして、北側の方だけを民営化させていただいたところでございます。

委員長 それでは進捗状況については、このくらいにさせていただきまして、またお気づきの点があれば戻っていただければと思いますが、もう一つ議題がございますのでそちらの方に進めさせていただきますが、よろしいでしょうか。

## 議題

### 2) 湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画の策定について

事務局 (議題について概要説明)

委員長 ただいま、湖南省において今年度に公共施設等総合管理計画に基づき個別施設計画を策定していくとのことで、その構成、まとめ方について事務局から説明がありましたが、これについて、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

委員 6ページの(2)の必要性と効率性というところで、ここでは小学校3校の利用状況或いはコスト状況として、資料が出されてるんですけども、例えば小学校の利用状況で適正な数値というか、どの水準が一番適正であるかとか、或いはコスト状況といってもどの水準がベストなのかそこがなかなか僕ら一般市民としてわかりにくいのかなと思います。ですので、あるべき単価とか数値っていうのがあってそこに向けて、進めていくとかいうのがわかれば一番いいのかなと思います。

それと、第6章の7ページの方に、一番下から2つ目に民間譲渡という形で売却ということを書いてあるんですけども、こういう民間企業への譲渡っていうのも、十分にあり得るという形で考えていいんでしょうか。

事務局 6ページ、施設別の利用状況につきましてなんですけども、各施設、それ

ぞれやはり適正な水準というのは異なっております。また、自治体によっても適正な水準というのは異なってきますので、湖南省の小学校の中でその平均値をとりまして判断させていただきたいと考えております。そのため、この記載の中では、利用状況の隣に平均値を追記させていただくことで、高い低いを比べていただければというふうに考えています。

もう1点の民間譲渡の方なんですけども湖南省の方では、施設につきまして、いらなくなったような施設につきましては、平成28年3月に公有財産の利活用基本方針というものを定めておりまして、そういった中で、施設が不要となりましたら、市の内部の中で使う予定があるかどうかというのを確認させていただきます。市内部でも使うところがない場合には、地元にお声をかけたり、また民間の方にお声がけさせていただきまして、民間譲渡もありえると思われま。また、老朽化しております施設については除却の方向で進んでいくような形をとらせていただいているところでございます。

市長

補足いたしますと、文部科学省が、密を避けるという意味で、学校の設置基準について、少し見直しを始めています。

とりわけ30人学級等も進めていく必要があるということも言っておりますので、この中で定める数値は数値としてあるんですけども、やはり外的環境が大きく変わってくるということについても、一定考慮していく必要があるというふうに思っておりますので、ここで定めるのはあくまでも目標値ということでありまして、その外部環境が変わればそれに応じて、またこの計画についても見直していくということも必要になってくるかということでもあります。

委員

学校施設とか、廃校になった施設とかを民間企業の活力を利用して、高島の方では、廃校になった小学校にキノコとかそういったところを栽培しながら、賃貸して企業誘致していくとか、そういったところの試みもあると聞きます。最近話題のSDGsなどの観点からすると、使える施設を民間に委託しながら、雇用を作っていくとか、そういったところもいいのかなとは思っています。

事務局

今おっしゃっていただいた通り、施設が行政目的として必要なくなったけれども、まだ使える施設があった場合には、やはり地域の活力を向上させるために、そういった観点で、やはり有効利用をしていきたいと思っておりますし、そういう観点が非常に重要だというふうな認識を持っているところでございます。

委員

いろんな計画を立ててまた目標を立てていく上で数字というのは大事だと

思うんですけども、小学校の件でいろんな数字、利用状況などが上がりますが、こういう数字で示すのはどうかと思うんです。子供の教育はとても大事だと思うし、子供の人格の形成だとかそういったところで、単に子供の人数が減ったから、学校の部屋が余ってる、余ってる部分が多くなってるっていうだけで、どうしていくのかっていう問題だと思うんですけど、やはり湖南省のこれだけの環境の中で、子供たちを育てていく上では、いろんなものを利用してこの自然を利用して、心豊かに育てていくためには、数字だけにはこだわらずに、やはり独特の教育っていうものも取り入れながら、その中で、今後この学校をどうしていくのかっていうのはやっぱり考えていって欲しいので、また別の観点の防災の方から言いますと、やはり避難所になってたりしますので、そういったところも考えながら、盛り込んでいっていただきたいなどは思っています。

廃止になった施設の中に青少年自然道場が入ってるんですけども、やはり他の地域にない、とてもいい施設であったと思います。外に出ていろんな活動するということが少なくなっている現在、子供も、大人もそうなんですけれども、学校の中では体験できないことをここではできたと思います。できた当初はすごい人も多かったし、地域もまた各種団体の方も利用されてました。キャンプができたり、飯ごうができたり、夜だったらキャンプファイアができ、合宿とかにも使っておりました。しかし、長年、手を入れられずにきたものですからすごい老朽化になってまして、雨漏りもひどいですし、いろんなところが朽ちて、壊れています。現在は地域の住民が守りながら、他府県から訪れられる八丈岩っていうのが、裏山にありますので、そちらにこられた方にお手洗に使ってもらったり、ちょっと休憩していただいたりする場として、地域の住民が持つてる状態です。もう廃止してしまった以上、ここで言ってもどうもならないんですけどもそんな状況で地域住民が守っております。

小学校に関して言えば、9ページにあります、平成28年から令和7年度で1万㎡の削減という計画なんですけど、保育園を民営化したことによって、約1万弱が削減できてますので、小学校に関しても、他の施設に関しても、やはり焦らずじっくりいろんな意見等聞きながら、よりよい方向で、削減するのか改修してまた再利用するのかといったところ検討していくべきではないかなと思っております。

事務局

まず1点目の学校施設やそれぞれの施設につきましては、単に余ってきているから空きが出てきているから廃止とか、そういった観点で建物を考えていくのではなく、それぞれの施設の特性なりも考えさせていただいて将来的なこと、特に学校につきましては、コロナの状況で密を避ける対応とかも、今

後も必要になってくると思いますので、そういったところも踏まえて慎重に考えていくべきだというふうに考えております。また、そういった施設につきましては避難所に指定もされているということもございますので、その観点も非常に重要な視点でなかろうかというふうに考えているところでございます。

そういった中で、市の方が施設を廃止するについての当初の目標といたしますのが1万㎡の削減ですので、保育園の民営化等も踏まえまして、当初目標は達成しております。ただし、それ以降にも、多くの施設の統廃合なりもまた検討していかなければいけないということもありますので、このたび、個別施設計画というものを策定させていただきまして、長寿命化していく施設なり、また、本当にこの施設が必要であるかどうかというのを長期的な視点で考えていく必要があると考えているところでございます。

市が手を加えまして、それでまた市がすぐに廃止なりしてしまうと、税金の無駄遣いにもなってこようかと思えます。そういったところを個別施設計画の中で、施設の方向性を定めるなりの検討をしまして将来に負担がかからないように努めて参りたいというふうに考えているところでございます。先ほども言っていたいただきましたように、一定の時期に手を加えないと、やはり老朽化が急激に進むところもございまして。そういったところもすべて考慮しまして個別施設計画というものを策定していきまして、二重投資にもならないような形で市の施設を今後管理していきたいというふうに思っているところでございます。

委員

平成29年度からですね、そういう統廃合を進めてきて、令和2年度については下に書いてある三つがあるんですけども、この後の3年度とか、4年度の計画はどういうことを考えてるんですか。市庁舎の建設も延期になったことで、今後の進め方で変わってくる場所もあるかと思うんですけども、来年、再来年の計画とかあったら、教えていただけたらと思います。

事務局

湖南省の方で今定まっておりますのが令和2年度の取り組みまでということでございまして、そういった中で、皆様のお手元の方に、参考資料というのもお配りさせていただいております。こちらは、湖南省の公共施設等総合管理計画を平成28年度で策定した時に、ある程度施設の方向を、一定の目標を達成するためにこういうふうに考えていきたいと思いますというものを示したものでございます。

いわゆる、こちらの方の参考資料に書かれていることを、個別施設計画ということでそれぞれの施設につきまして、こういった表に落とし込みまして、いつにどういうふうに対策を練っていくかを、今年度、決定していきたいというふうに思っております、令和2年度までは今のところ決まっております。



委員

こういう統廃合をしていくにあたってはですね、みんなが住みやすいまちと  
いうとじゃあ何を基準にという話になり、今現状を基準に不便になる、便利に  
なるとかいうところで判断してしまうんですけども、やっぱり行政としてはやっ  
ぱり、10年後20年後、いろいろビジョンを立てて、市政運営していくことを考  
えていただいているというふうに思います。そういう中でやはり湖南省としての、  
イメージ図。例えば、運動施設はこう、学校はこうで、50年後こういう人口が  
あって、こういうふうになってくると、こういうイメージになればいいなというよ  
うなそういうイメージ図、市庁舎1個あって、学校があって公園や高齢者施設  
がこういうふうにあるというふうなそういうイメージ図みたいなものを湖南省と  
して作っておられるのでしょうか。

市長

今後10年の見通しについては、市としては総合計画を立てて、方向性を  
示させていただくため、今年度後期5ヵ年計画について議論をさせていただ  
いています。その中において、やはり湖南省というのは、旧の石部町と三雲  
村岩根村下田村の一町三村で構成された甲西中学校の学区だったというこ  
とがありますので、昭和の合併を行ったという認識で間違いないと思ってい  
ます。ですからそういった意味で言いますと、庁舎については、総合庁舎が  
一つ必要ということになってくるかと思っています。ただ石部町についてはこ  
れまで100年間、町としてありましたので、そこである程度のサポートをする  
必要があろうかと思っています。西庁舎についてもこの東庁舎と1年違いの  
耐震ができてない建物ということでもありますので、教育委員会機能を東庁舎  
の方に移した後、やはりまちづくりセンター的な地域の集会施設というのは  
必要になってくるかと思っていますので、それは東海道五十三次51番目  
の宿場町という、石部町の歴史を重んじた形で、まとめていく必要があるの  
ではないかというふうに思っています。

石部宿には昔二つ本陣がありましたけれども、今二つとも現存しておりま  
せんので、やはり歴史を検証しながらそういったものをまちづくりセンターで  
復元することができれば、地域のアイデンティティにも繋がっていくのではと  
いう思いは持っていますけれども、それはまた市民の皆さんの間で議論をい  
ただければいいことではないかなと思いますが、やはり外からこられて新しい  
町並みばかりでは、地域のそのよさというものが伝わりにくい部分もあろうかと  
思います。今回のこの個別計画については、それぞれの建物について、ど  
の方向性を向くかということではありますが、それを具体的に落とし込んでい  
くためには、やはりもう少し市民の皆さんと議論していく必要があろうかとい  
うふうに思っているところであります。

スポーツ施設については湖南省市内のあちこちにスポーツ施設が点在して

るというよりは、かなりございますので、これをどのようにうまく使っていくのか。そしてそれを統合できる場合には統合していけばいいと思いますし、またその中で維持管理が難しい部分については、また見直しをかけていくということも必要ではないかなと思っています。

学校については子供の数が減っていきますので、長期的には、これを減らしていくことで市民の皆さんの負担を軽減していくということが必要だと思いますけれども、やはり当面は先ほど申しましたように密にならないということで、国の方も30人学級をこれから推進していくとありますから、学校自体の数については、しばらくは現状維持していくことになろうかと思っています。とりわけ小学校につきましては小学校区がそのまま地域のコミュニティを形成してますので、やはりこのコミュニティと学校区を、簡単に分けるというのが非常に難しいところもありますので、それも含めて地域の中で十分な議論をしていく必要があるというふうに思っております。本来ですと先ほど申しましたように、湖南省は旧一町三村で、できてましてそれぞれに小学校がありましたので、今の中学校区がそれぞれ小学校区ということだったと思いますけれども、それをどのように再編していくのかっていうのは、やはり地域の中で十分議論をして丁寧にしていく必要があろうかというふうに思っております。

委員

非常に大変だと思うんですけども、私会社に40数年勤めて、企業だと本当に目的が収益を上げて、というところで簡単なんですけども、市長は選挙ですし、やっぱりこういうところは税金をいただいて、みんなの声を聞きながらというところでは非常に大変なので、そういう点です、いろいろ、古い歴史あるところや、県外から定住してきた人、いろんな考え方とかなんかは違ってくると思うんですけど、それが全部湖南省のいいところですのでそこを生かして、財政破綻しないように住みやすいまちをつくっていただければなと思います。

委員長

ありがとうございました。

特にございませんようでしたら、議題について終わりにしたいと思います。今日の議題に関して或いは公共施設のあり方について何かご意見等ございましたら、全体通じてご自由にご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

それでは特にございませんようですので、本日の議題については以上にさせていただきますが、次回に向けては、今日お示しをいただきました個別施設計画、この素案が示されるということになりそうであります。この素案の策

定に当たりましては、先ほど各委員からございましたように、それぞれの施設の性質そして、その目的、また、地域の状況、これらをしっかりと見定めた上で、案を作成していただきたいということをご希望ございました。また、着実に施設の総合管理計画を進めていくという観点から、具体的な計画の見直しや、或いは進捗管理のあり方、この辺りについてもご注意くださいので、この辺りも留意をした個別施設計画の策定進めていただければというふうに思っております。

また、こうした施設のあり方の中で、それぞれの施設、ただ単に統廃合をすればよろしいということではなくて、そのあとの適正な財産の管理や或いは活用のあり方、後始末のところ、アフターケアのところも、しっかりとご検討いただいで進めていただければということをご意見をいただいたところでございました。

その他、各委員から何か追加してこれだけというのはあれば、最後にいただいで終わりにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは特にございませんようですので以上をもちまして本日の議題終了とさせていただきます。これから、本市は本当に大変な状況の中で、運営をしていかなければなりません。特にこの、新型コロナウイルス感染症、この対策にあたりましては、言い方があんまり良くないんですがもう国も地方も借金だけで対策を進めてこられてるところがございます。おそらく、将来に多くのツケを回さざるをえないというそういう状況が、日本全体で今進んでいるところでもございます。その一方では、こうした過去の、言ってみれば、様々な、蓄積、そして、これまでの地域への様々なサービスの提供、そうしたものもしっかりと踏まえながら、将来にわたって、よりよいこの湖南市をどう維持をしていくのか、公共施設という観点からも、大変な選択をこれから迫られると、そういう状況にあらうかというふうに思っております。

当面は、東西庁舎どうなるのかというのも、次回、おそらく議論になろうかというふうに思っておりますけれども、こうした問題も含めて本当に問題山積みというところであらうかと思えます。

そうした短期的な問題、そして中長期、今回の計画、10年計画をまた皆様方にご審議をいただくのが次回になるわけでございますけれども、そうした短期的な視点そして長期的な観点、そうしたものを踏まえて今後ともしっかりと議論をいただければというふうに思っております。

事務局も大変ですけれども、素案作成に向けて、ご尽力をいただければというふうに思っております。

それでは以上をもちまして本日、すべて議題の方は終了とさせていただきます。

事務局

それでは各委員の熱心なご議論に感謝を申し上げまして、事務局の方にお返しをさせていただきます。

新川委員長様、各委員の皆様、熱心なご議論、誠にありがとうございました。

それでは次第でございます。その他についてですが、次回の会議日程の方の調整の方を事務局からさせていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

(日程調整)

以上ですべて終了いたしました。

これをもちまして、第1回公共施設等マネジメント推進委員会を閉会させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

終了

閉会 10:45